



 埼玉県行田市 行田市まち・ひと・しごと創生推進事業
令和7年度 企業版ふるさと納税 寄附対象事業一覧

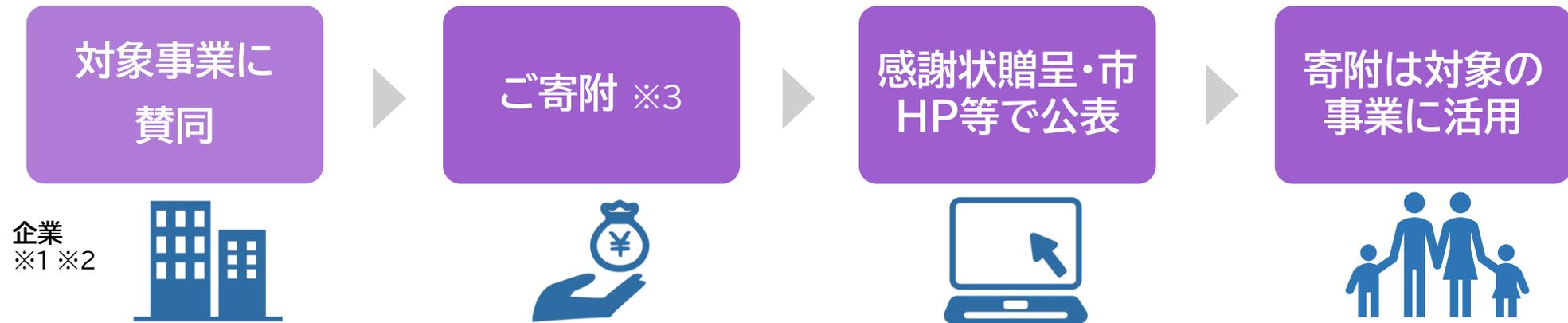


企業版ふるさと納税について

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地域再生計画に掲げた事業に対し、企業が寄附を行った場合に、法人関係税の優遇措置が受けられる制度です。

地域の取組みに貢献しつつ、最大で9割の法人関係税の軽減を受けることができます。

寄附の流れ



※1 市内に本社(地方税法における「主たる事務所又は事業所」)が所在しない

※2 外国法人を含め、青色申告書を提出している法人やNPO法人、一般社団法人も含む

※3 1回につき10万円以上

企業版ふるさと納税のメリット

- 法人関係税(法人住民税・法人税・法人事業税)において、通常の損金算入(約3割)に加え、最大で寄附額の6割(法人住民税+法人税で最大4割、法人事業税で最大2割)の税額控除が受けられます
- 本市のホームページ等に寄附企業名などを掲載させていただきます

行田市まち・ひと・しごと創生推進事業(寄附対象事業)

1. 企業誘致と地域産業振興で、魅力的な雇用を創る事業

- ・企業誘致の推進と雇用を創出するため、開発の誘導や進出企業に対する負担軽減策などを実施する。
- ・市内の産業振興とキャリアアップ支援のため、創業支援ワンストップ窓口の設置や創業セミナーを開催することで、企業しやすい環境を整える。
- ・農業経営の基盤強化と敬遠支援のため、農地の効率的な利用や担い手不足に対応するため、農地の集積・集約化や農業法人化を促進する。



2. 豊富な地域資源を活用し、新しい人の流れを創る事業

- ・観光消費の拡大と地域経済の循環を図る。
- ・魅力ある観光コンテンツの開発・強化を通じて、体験型観光を推進し、滞在時間の延伸を図る。
- ・イベント開催や国際的プロモーションにより国内旅行者及びインバウンドの誘客を図る。
- ・市民や観光客が気軽に立ち寄ることのできる休憩スペース等の整備に加え、足袋蔵などの歴史的建築物や空き家の利活用を支援し、ウォークアブルなまちづくりを推進する。



3. 若い世代の希望をかなえ安心して 出産・子育てができる環境を創る事業

- ・誰もが希望に満ちた明日を夢みて描いたライフデザインを実現できるよう「プレコンセプションケア」を推進する。
- ・妊婦の健康管理の向上などを目的とした健康診査、産後ケア事業のほか、伴走型相談支援として母子の健康状態や養育環境を確認し、支援をする訪問事業など、妊娠期から出産期にかけて母子に寄り添った支援を行う。
- ・子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境を整備するため所得制限のない「3歳未満児保育料無償化」を実施する。



4. 若い世代も高齢者も住み続けたいくなる 魅力的な地域を創る事業

- ・特色ある教育を推進するため、市内市立小中学校を3校の義務教育学校に再編する。
- ・頻発化・激甚化する災害に備えるための環境を整備し、自助・共助の取組みを促進する。
- ・本市への移住定住をさらに促進させるため、移住定住コンシェルジュを配置し、移住相談への対応や全国的な移住イベントへの参加を通じて、本市の魅力を効果的にPRする。



1. 企業誘致と地域産業振興で、魅力的な雇用を創る事業

事業名	公開型GIS導入事業	事業名	スマート農業等推進事業
事業費	4,000万	事業費	1,000万円
事業内容	各地図情報のベースとなる都市計画基本図の更新と併せて、各所管課で保有する地図情報をインターネット上に公開する公開型GISを導入することで「誰でも・いつでも・どこでも」情報にアクセスできる環境を構築する。	事業内容	本市独自施策である農業施策を積極的に推進するため、攻めの農業支援事業を変更し、更なるスマート農業の導入を促進するほか、6次産業化や既存の生産方法を改善するための新たな取組み等を実現する農業者を支援します。

2. 豊富な地域資源を活用し、新しい人の流れを創る事業

事業名	よみがえれ！行田の桜プロジェクト	事業名	日本遺産魅力発信事業
事業費	400万円	事業費	1,547万5千円
事業内容	クビアカツヤカミキリの食害により大きな被害を受けた市内の桜並木を復活させるため、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、桜の植樹等桜並木復活プロジェクトを実施。 	事業内容	市内に点在する日本遺産関連施設等の保存・活用を図るとともに、日本遺産フェスティバルへの出展等を通じて、その魅力を全国に発信していきます。令和7年度は、日本遺産を中心とする市内文化財の多言語開設整備を行います。

3. 若い世代の希望をかなえ安心して出産・子育てができる環境を創る事業

事業①	(仮称)さきたま古墳公園広場 子どもの遊び場事業構想検討事業	事業②	プレコンセプションケア普及啓発事業
事業費	33万7千円	事業費	70万9千円
事業内容	さきたま古墳公園広場に子どもの遊び場を整備するに当たり、(仮称)さきたま古墳公園広場子どもの遊び場事業構想検討委員会を設置し、検討事項について議論し、取りまとめを行います。	事業内容	児童・生徒期の性教育、生活習慣改善に関する講座及び成人期の仕事やライフデザイン等の講座を行い、誰もがいきいきと暮らせるよう、生涯の健康づくりを取り組むための普及啓発を行います。

4. 若い世代も高齢者も住み続けたいくなる魅力的な地域を創る事業

事業①	英語のできる行田っ子育成事業	事業②	認知症施策関連事業
事業費	7,231万6千円	事業費	1,656万1千円
事業内容	小中学校の外国語授業及び外国語活動に外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語コミュニケーション能力の育成を図ります。 幼稚園に外国語指導員を派遣し、年少(4才)からの英語学習を推進することで、英語の好きな子どもの育成をめざします。 また、生成AIを効果的に活用する事業を実施し英語力の強化を図ります。	事業内容	誰もが認知症になり得ることを前提に、「新しい認知症観」に基づき、市民一人一人が自分ごととして理解でき、個人として持っている「できること・やりたいこと」を捉え、その実現を支援し、住み慣れた地域で仲間と共に希望を持って自分らしく暮らすことができる地域を「予防」「啓発」「共生」の3本柱で目指します。

皆様からのご支援よろしくお願ひします！

本資料掲載以外の寄附対象事業については、下記担当までお問い合わせください。



【参考】令和6年度 実施事業

●行田タワー全国 発射プロジェクト
プロジェクトにご賛同いただいた26企業より
11,195,500円の寄附をいただきました。
寄附金は全額、市内古代蓮の里にある「行田
タワー」のサイン(看板)をタワー側面に設置す
るために活用させていただきました。



▲ 行田タワー(行田市小針2357-1 古代蓮の里内)

お問い合わせ先

行田市役所 総合政策部 企画政策課

行田市HP(企業版ふるさと納税)
についてはこちらをご覧ください



TEL:048-556-1111(内線308) E-MAIL: kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp